

5/15 安八町を美しく

住友化学株式会社岐阜プラントの社員とその家族約30人が、会社の周辺や中須川沿いの道路を中心にボランティアで清掃活動を行いました。用水路に落ちた空き缶や、道路に落ちたペットボトルなどのゴミを約1時間ほど拾い集めました。

この活動は、同社労働組合岐阜支部が主催し、地域貢献や健康増進のために十数年前から毎年この時期に行っています。

田代孝司支部長は「きれいになってよかったです。町に少しでも貢献できるよう、これからも活動を続けていきたいです」と話されました。



▲道路に落ちたゴミを拾う岐阜プラントの社員の皆さん

5/25 おばけかぼちゃ苗植え

牧小学校の3、4年生が約70株のおばけかぼちゃ（品種：アトランティックジャイアント）の苗植えを体験しました。

この体験は牧地区まちづくり協議会が地域交流や遊休農地の活用を目的に毎年行っており、今年で7回目です。大きいものは直径60cmほどに育つといい、秋には収穫後にハロウィーンの飾りとしてランタンを作る予定です。

児童たちは「楽しく上手に植えることができました」「もう一回やりたいです」と話してくれました。



▲大きいかぼちゃができることを願いながら植えました

5/28 大梅ちぎり

百梅園で農産物加工運営委員会梅部会を中心に12人が集まり、大梅の収穫を行いました。

約4ヘクタールの百梅園の敷地には1,200本以上の梅の木があり、手で実をちぎったり、木の高い所にある梅を棒で突いて落としたりして、約250キロを収穫しました。

収穫した梅は、梅部会の皆さんによって梅干しや梅ゼリーなどに加工され安八温泉や各種イベントに出品されます。

種田峯子部会長は「梅は体に良いので、たくさん食べて元気に過ごしてほしいです」と話されました。



▲大きく実った梅を丁寧に収穫する梅部会の方

6/8・14 田植え体験

牧小学校・結小学校の5年生が地元の人に協力してもらい田植え体験を行いました。

地域について学ぶふるさと学習の一環で毎年実施されており、昔ながらの手植えを体験し米作りの大変さを実感しました。

初めは土の感触に戸惑いながら、恐る恐る田んぼに足を入れていた児童たちも田植え後には「もう一度やりたい！」と口々に声を上げました。代表児童は「実際に田植えをしてみたらとても大変で、昔の人はすごいなあと思いました」と話してくれました。



▲牧小学校では古代米の田植えを行いました